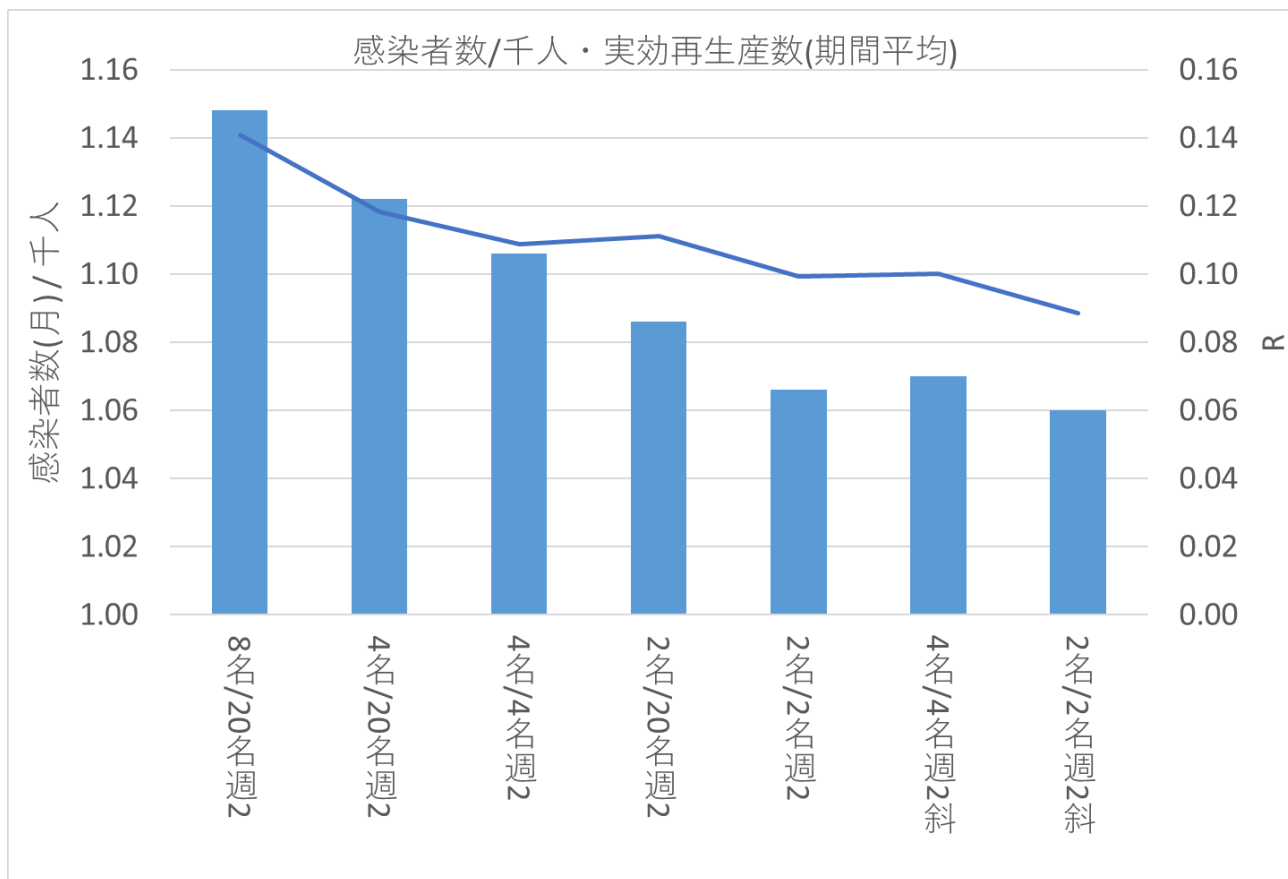


外出・会食人数の影響評価



- いつもの2人に限定した外出で感染拡大リスクは半減
- いつもの4人になった場合は、正面での会話・会食を避けることでリスクは半減*

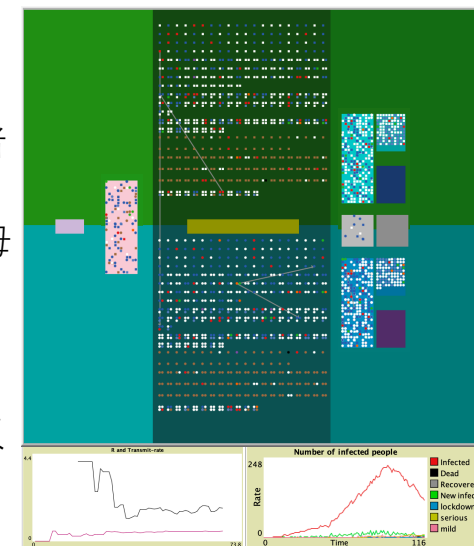
モデル

首都圏近郊の1348人の町を想定

若年者 220人・成年者 768人・高齢者 360人

世帯構成：単身・夫婦・夫婦子供・母子/父子

ある日この町で、1名の感染者が発生した。住民は週2日、自分のn人の友達からランダムに選んだm人と外出し会食する。ただし、すべてのイベントは中止、職場学校の接触は通常の1/5に制限されている。



結果

- 20人の友達から8名と外出・会食に対して、感染拡大数は、
- 20人の友達から4名と外出・会食で18%減少
- 20人の友達から2名と外出・会食で42%減少
- いつもの4名と外出・会食で28%減少
- いつもの2名と外出・会食で55%減少
- いつもの4名と外出・会食斜め席で53%減少
- いつもの2名と外出・会食斜め席で60%減少

*ただしこのモデルでは、外出・会食以外の場での感染は、感染予防策をとった職場・学校・家庭に限定されているとしており、減少率は見かけ上大きくなっていることに注意。